

令和8年度

九州・四国広域交通ネットワークシンポジウム

令和8年 12/23(水) 15:00~17:00 [14:30開場予定]

J:COMホルトホール大分 大ホール（大分市金池南1-5-1）

参加無料
先着600名様

第1部 基調講演（15:20~16:00）

「西日本交通ネットワークの拠点・大分」



名古屋都市センター長
防災情報研究所 理事長
奥野 信宏氏
※パネルディスカッションも参加

1945年生まれ、島根県出身。名古屋都市センター所長。公共経済学専攻、博士（経済学）。京大院修士修了。名古屋大学経済学部教授・学部長、名古屋大学副総長等を経て現職。前国土審議会会長、内閣府共助社会づくり懇談会座長、内閣官房ナショナルレジリエンス懇談会委員、大分県広域交通ネットワーク研究会座長等を歴任。著書「公共経済学」（岩波書店）、「公共の役割は何か」（岩波書店）、「地域は「自立」できるか」（岩波書店）、「新しい公共を担う人びと」（栗田卓也氏と共著、岩波書店）、「都市に生きる新しい公共」（栗田卓也氏と共著、岩波書店）、「リニア新世紀・名古屋の挑戦」（ディスカヴァー携書）他

第2部 取組報告（16:00~16:05）

●新幹線基本計画路線に係るケーススタディ ●豊予海峡ルート官民連携投資研究会

第3部 パネルディスカッション（16:15~17:00）

「広域交通ネットワーク形成による各産業への期待される効果と実現に向けた取組」



コーディネーター 九州経済調査協会 常務理事 兼 調査研究部長 **岡野 秀之氏**

九州大学大学院比較社会文化研究科修了。1997年財団法人九州経済調査協会入職。調査研究部研究主査、主任研究員、総務企画部次長、調査研究部長、事業開発部長兼BIZCOLI館長などを経て2023年6月常務理事兼事業開発部長に就任。2025年4月から現職。専門は、地域経済論、産業配置論、地域産業政策論。

パネリスト



宮崎県副知事
竹内大一郎氏



愛媛県 人口減少対策統括部長
森居基修氏



九州経済連合会 常務理事
庄山和利氏



大分県商工会議所 青年部連合会 会長
日髙洋平氏



大分県知事
佐藤樹一郎

［主催］大分県 ［共催］大分県東九州新幹線整備推進期成会 ［後援］宮崎県・愛媛県・九州経済連合会・四国経済連合会

お申し込みに関するお問い合わせ
シンポジウム運営事務局（株式会社シーピーファイン内）
TEL 0120-524-453（平日10:00~18:00）

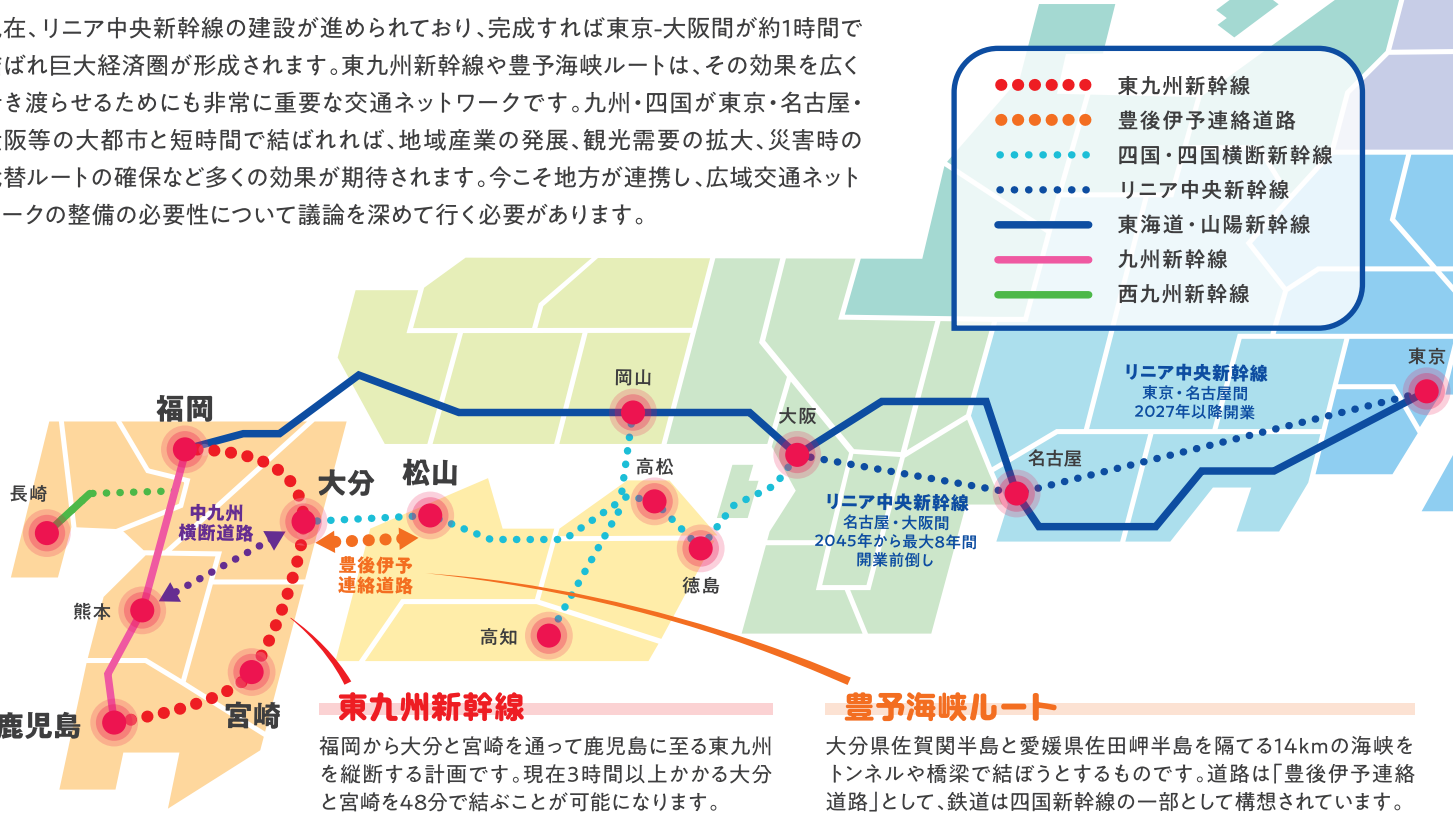
イベントの詳細はこちら

九州・四国広域交通ネットワークシンポジウム

「広域交通ネットワークの形成に向けて」

九州と四国は陸路で結ばれておらず、さらに東九州と四国は新幹線が未整備で交通アクセスに課題があります。
全国で建設が進む整備新幹線は、残る未着工区間が2つとなり、いよいよ次の新幹線計画に期待が高まっています。

現在、リニア中央新幹線の建設が進められており、完成すれば東京-大阪間が約1時間で結ばれ巨大経済圏が形成されます。東九州新幹線や豊予海峡ルートは、その効果を広く行き渡らせるためにも非常に重要な交通ネットワークです。九州・四国が東京・名古屋・大阪等の大都市と短時間で結ばれれば、地域産業の発展、観光需要の拡大、災害時の代替ルートの確保など多くの効果が期待されます。今こそ地方が連携し、広域交通ネットワークの整備の必要性について議論を深めて行く必要があります。



東九州新幹線

福岡から大分と宮崎を通って鹿児島に至る東九州を縦断する計画です。現在3時間以上かかる大分と宮崎を48分で結ぶことが可能になります。

豊予海峡ルート

大分県佐賀関半島と愛媛県佐田岬半島を隔てる14kmの海峡をトンネルや橋梁で結ぼうとするものです。道路は「豊後伊予連絡道路」として、鉄道は四国新幹線の一部として構想されています。

お申し込みはこちら

①右記二次元コードからお申し込み。
②下記申込用紙を記入の上、FAXでお申し込み。

お申し込みに関するお問い合わせ

シンポジウム運営事務局（株式会社シーピーファイン内）
TEL 0120-524-453（平日10:00~18:00）

申込締切　令和8年 12月16日［水曜日］



九州・四国広域交通ネットワークシンポジウム

お申し込み書

宛先　シンポジウム運営事務局（株式会社シーピーファイン内）
FAX 03-5577-3043

参加者氏名		住　所	
電話番号		メールアドレス	@
参加者氏名		参加者氏名	
参加者氏名		参加者氏名	
参加者氏名		参加者氏名	

※取得した個人情報は個人情報保護に関する法令、諸規制に基づき管理し、本イベントに関するご案内、ご連絡、参加登録のために利用します。